

事業名	補正予算額 (現計予算額)	説明	明
<b>【環境政策課】</b>  試験研究費 (琵琶湖環境科学研究センター)	2,800 (101,744)  繰 2,800	琵琶湖の底生動物のデータベース作成事業 緊急雇用対策として、湖岸や湖底の環境の評価指標となる底生動物について、過去の調査資料を基に分布状況をデータベース化し、今後の環境改善施策に役立てる。	2,800   0 2,800
<b>【琵琶湖再生課】</b>  琵琶湖レジャー対策費	7,944 (27,410)  繰 7,944	琵琶湖レジャー陸上監視・指導補助員設置事業 緊急雇用対策として、新たに陸上での監視・指導を行う補助員を雇用し、湖上監視に併せて実施することにより、琵琶湖レジャー利用の監視・指導体制を強化する。	7,944   0 7,944
<b>【循環社会推進課】</b>  生活排水対策事業費	5,667 (61,459)  繰 5,667	浄化槽法定11条検査促進事業 緊急雇用対策として、新たな方式による法定検査を円滑に導入するため、データ整理や関係者との連絡調整などの取り組みを促進する。	5,667   0 5,667
<b>【森林政策課・森林保全課】</b>  湖国のみどりづくり推進事業費	146,933 (450)  繰 146,933	1 竹材資源化事業 緊急雇用対策として、放置竹林から伐採された竹をバイオマスエネルギーとして活用し、放置竹林の整備と竹材の資源化の推進を図る。  2 伐採可能森林調査・情報集積事業 緊急雇用対策として、森林施業の集約化、低コスト施業による木材生産を実施するため、集約化可能森林について現地調査を行い、その資源量を把握し、木材利用の推進を図る。  3 ふるさと里山再生事業 緊急雇用対策として、高齢化が進む山村集落周辺の里山に対して、除間伐・枝打ち等を実施することで住環境の整備、獣害防止、里山環境の改善を図る。	11,544   11,544  22,122  74,961  0 11,544 0 22,122 0 74,961

## 【国第2次補正予算関係】

単位：千円

事業名	補正予算額 (現計予算額)	説明	明
		4 保安林境界保全事業 緊急雇用対策として、保安林区域の境界を明確にし、現況を把握することにより適正な保安林管理を図る。 0 20,832	20,832
		5 森林管理明確化事業 緊急雇用対策として、公有林等を対象に、森林管理のための区域測量、毎木調査および歩道の新設・改良を実施する。 0 17,474	17,474
【自然環境保全課】			
自然環境保全推進費	28,394 (20,056)	外来生物調査隊“エイリアン・ウォッチャー”事業 緊急雇用対策として、外来生物の防除対策を効果的に行うため、専門的知識がなくても発見・判定できる外来生物を対象に県内の生息状況の概況調査を実施する。 0 28,394	28,394
	繰 28,394		
鳥獣対策費	49,120 (29,900)	野生動物行動圏管理事業 緊急雇用対策として、人間と野生鳥獣の生息域を分け、野生鳥獣が人間の活動域に出没することを防ぐため、追い払い等の対策を推進する。 0 49,120	49,120
	繰 49,120		
ヨシ群落保全事業費	20,000 (15,500)	ヨシ群落維持管理事業 緊急雇用対策として、健全なヨシ群落を保全・育成するためヨシ刈りおよび清掃を実施する。 0 20,000	20,000
	繰 20,000		
水草刈取事業費	15,246 (51,747)	水草・ハス人力刈取事業 緊急雇用対策として、悪臭等の生活環境への被害のある湖岸において水草の人力刈取りや、ハスの生息範囲の拡大防止のため、機械刈りが不可能な湾奥部や沿岸部において人力刈取りを実施する。 0 15,246	15,246
	繰 15,246		